

平成27年11月6日

## 平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について 学長コメント

このたび、群馬大学の「平成26年度に係る業務の実績に関する評価」が、文部科学省国立大学法人評価委員会（第52回）で決定されました。

その中で、「1 全体評価」において「群馬大学の中期目標前文に掲げる「地域医療を担う中核として、医療福祉を向上させる」や「不断の点検・評価と改革を推進する」という点に照らして、極めて深刻な事態である」との指摘を受けるとともに「2 項目別評価」の「(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標」では、「中期計画の達成のためには重大な改善事項がある」との評価を受けました。（その他3項目は、「順調に進んでいる」との評価となりました。）

これは、医学部附属病院における医療事故問題に関し、「大学としては、診療体制の見直しや医療安全管理体制の強化等に向けた取組を行っているが、今後も引き続き改善すべき点の検証等を行い、さらなる医療安全管理体制の強化や組織体制の見直し等に積極的に取り組むほか、全ての教職員が本事例の重大性を受け止め、一人一人が意識改革を行うことも強く求められる」との指摘を受けたものです。

本学では、この評価結果を厳粛に受け止め、全教職員が一丸となって中期目標・中期計画の達成に向けた取り組みに、最大限の努力を傾注する所存です。